



市観光協会が
火之神公園を清掃



全日本のテニス選手権で優勝

■10月6日から9日の期間に名古屋市で行われたティジン全日本ベテランテニス選手権45歳以上女子ダブルスの部で、宮原祥子さん(千代田町)が優勝しました。



全国地域安全運動出発式

■10月11日から20日までの全国地域安全運動期間に先立ち、10日に枕崎小学校で出発式が行われました。地域安全モニターや少年警察ボランティアなど約200名が参加しました。



枕崎市シルバー人材センター
ボランティア清掃

■10月はシルバー人材センター事業普及促進月間でした。10月16日、片平山公園や市営立神墓地など市内4か所で会員によるボランティア清掃が行われました。



空き家の現状や利用法を学ぶ ～空き家活用塾～

空き家の現状や、改修技術などを学ぶ「空き家活用塾」が木口屋集落で開催されました。

9月8日から10月14日の間に4回に分けて行われたこの塾は、県のNPO共生・協働・かごしま推進事業の一環として、南薩地域の過疎化、少子高齢化による空き家の増加という地域課題に対応するため行われたものです。

参加者は講師のマエノ住建の方々の講義を受けた後、実際に工具を手にし、空き家の改修技術を学びました。

4回の講習に全て参加した吉井幸太朗さん(枕崎高2年)は、「実際に改修をすることができる楽しかった。家でもできることがあれば実際にやってみたい」と話していました。

11月からは耕作放棄地問題に対応するための講習会が予定されています。詳細は15ページに掲載されています。



今年もおいしい焼酎できました ～オリジナル焼酎「天地一杯」～

地元のPR活動に取り組む店舗などの有志でつくる「まちの駅南薩ブロック連絡協議会」のオリジナル焼酎「天地一杯」の仕込み作業が9月24日、薩摩酒造株明治蔵でありました。

原料となるサツマイモは、同会員が植え付けから収穫まで行ったものです。当日は会員10人が、麹に水と酵母を加えて混ぜ合わせた1次もろみに、細かく碎いたサツマイモを入れて混ぜ合わせる2次仕込みの作業を行いました。

天地一杯は12月1日から市内のまちの駅加盟店で限定800本販売の予定です。お楽しみに。



金山小学校最後の運動会

～閉校記念金山小学校・金山校区秋季大運動会～

10月6日、今年度末をもって閉校する金山小学校と金山校区の秋季大運動会が同校で行われました。今回の運動会には、桜山小学校の児童たちも運営や競技に参加するなど、総勢約400人の参加者がありました。

18人の児童たちは「全力 協力 あきらめない」のスローガンのもと、応援合戦やリレーなど一生懸命プレーし、その姿に来場者からは惜しみない拍手が贈られていました。

また、「さよなら金山小聖火リレー」には、同校の卒業生など約100人が参加し、さまざまな演出で運動会を盛り上げていました。

今年度優勝した、白組応援団長の鮫島聖貴くん(6年)は「たくさん的人が来てくれてとても緊張したけど、優勝できてうれしいです」と話してくれました。



①来場者全員で記念写真を撮影 ②同級生の名前が書かれた旗を掲げリレーに参加する卒業生 ③懸命にプレーする児童たち

火の神乙女太鼓爽が韓国で公演 ～鹿児島・全羅北道文化芸能交流事業～

火の神乙女太鼓爽が、韓国の全羅北道で行われた全州世界音楽祭りに参加し、韓国の大観衆を前に迫力のある演奏を披露しました。

これは、県の「鹿児島・全羅北道文化芸能交流事業」によるもので、鹿児島県と韓国の全羅北道の芸術文化団体を相互に派遣・受入をし、文化交流の促進を図り、国際性豊かな感性を備えた県民の育成と郷土文化の発展を目的に2年に1回行われているものです。

10月2日から6日までの日程で行われた本事業では、全州世界音楽祭りへの参加のほか、韓国のプロの楽団との交流活動も行われました。今回参加した、佛淵真帆さん(枕崎高3年)は「言葉は伝わらなくても、演奏を通じて韓国の人たちと気持ちがひとつになった気がして、とても幸せでした」と話していました。



そらべあ発電所を寄贈

～立神保育園そらべあ発電所寄贈式～

立神保育園に太陽光発電設備「そらべあ発電所」が寄贈され、9月30日に同保育園で寄贈記念式典が行われました。

この発電所は、再生可能エネルギー普及啓発を主に活動しているNPO法人そらべあ基金(東京都)の「そらべあスマイルプロジェクト」によるもので、子どもたちに環境の大切さを学んでもらうと同時に、CO₂を排出しない再生可能エネルギーの創出・普及を目的に取り組まれてあり、今回の寄贈は、ソニーマーケティング株式会社の協賛により行われました。

この発電所は、全国で40基が設置、県内では立神保育園が初めての設置で、園舎の屋根に整備されました。